年　　組　　氏名

大分合同新聞 2025年6月25日(水) 朝刊11面

『甘っ！』スイートコーン

大分市下戸次で収穫最盛期

「みずみずしさ楽しんで」

メロン並み糖度

【大分】大分市下戸次でスイートコーンの収穫が最盛期を迎えた。5月に好天に恵まれたことで、フルーツ並みの甘さに仕上がり、20軒以上の生産者が、早朝から作業に追われている。

過去の大野川の氾濫で堆積した肥沃（ひよく）な土壌を生かして、ハウス、トンネル、露地で栽培。約10年前から人気が高まり、生産量を拡大した。今季は4～5月の気温が低かったため、収穫が例年より約1週間遅れた。収穫は5月下旬のハウスを皮切りに始まり、7月中旬の露地まで続く。

赤峯収さん(53)は、6カ所の畑（計約60アール）で5年前に「あま嬢」の名でブランド化したスイートコーンを育てる。実は夜間に糖分を蓄えるため、毎朝午前5時ごろに作業を開始。太り具合を見極めながら手で1本ずつもぎ取り、収穫後は、品質や中に虫がいないかを確認する。糖度は16度以上で、メロンと同じくらい。7月上旬までに8トンの収穫を見込む。

「あま嬢」は生活協同組合コープおおいたや道の駅「たのうらら」に卸し、農園でも直売する。赤峯さんは「取れたては生でも食べられる。甘さやみずみずしさを楽しんでほしい。戸次のスイートコーンをもっと多くの人に知ってもらいたい」と話している。

（原田宏一）

スイートコーンを収穫する生産者＝大分市下戸次

収穫されたばかりのスイートコーン

©大分合同新聞社　教育目的以外の無断転載・複製および頒布は禁止します。

大分合同新聞
ワークシート

年　　組　　氏名

〔問①〕大分市下戸次で収穫が最盛期を迎えている作物は何ですか？

〔問②〕今季は「収穫が例年より約1週間遅れた」とありますが、それはなぜですか？

〔問③〕生産者の赤峯収さん（53）が毎朝5時ごろに作業を開始するのはなぜですか？

〔問④〕これから夏にかけて旬を迎える大分県産の作物にはどんなものがあるのか調べてみましょう。

©大分合同新聞社　教育目的以外の無断転載・複製および頒布は禁止します。